

p.10 【資料3】小学生特別ルール および ルール解説

■小学生の特別ルールや独自の取扱い

(14) 間違ったサーバーがサービスを打ってしまった場合の措置

において、最後の8行の記載が誤っていたので、下記<正><誤>のとおり訂正いたします。

<誤>

③ 記録員（副審）はサーブ順誤りの発生した時点を特定し、間違ったサーバーの間に得たそのチームの得点はすべて取り消される。なおその間に行われた相手チームの得点、テクニカルタイムアウトと罰則はそのまま有効である。しかし、その間に認められたタイムアウトと選手交代は取り消される。  
※反則発生の時点を特定できない場合には、反則を犯したチームの得点の取り消しはなく、相手チームに1点と次のサービス権が与えられるのみで措置完了とする。

ラリー中に副審がサーブ順誤りの吹笛により中断を行った場合、そのラリーは無効である。逆にラリーが吹笛によって完了し、その後に副審が間違ったサーバーの反則の処理を行った場合そのラリーは有効であり、相手チームの得点は有効である

↓↓↓

<正>

③ 間違ったサーバーのサービスで始まったそのラリーは無効とする。ラリーの結果は、どちらのチームの得点であってもそのラリーはキャンセルされ、間違ったサーバーの相手チームに、1点と次のサービスが与える。また、間違いがもっと遅い時点で発見された場合、記録員（副審）はサーブ順誤りの発生した時点を特定し、それ以降に間違ったサーバーのチームが得た得点はすべて取り消される。なおその間に行われた相手チームの得点、テクニカルタイムアウトと罰則はそのまま有効である。しかし、その間に認められたタイムアウトと選手交代は取り消される。  
※反則発生の時点を特定できない場合には、反則を犯したチームの得点の取り消しはなく、相手チームに1点と次のサービスが与えられるのみで措置完了とする。

以上 間違った内容を伝達しておりましたこと、訂正してお詫び申し上げます。

審判委員長 大森 祥生